

あいうえお



ソニー・ミュージックエンタテインメント社長CEO

村松俊亮

むらまつ しゅんすけ

今から20年ほど前、仕事で福岡に出張していた時に、予想していないタイミングで大分の母から着信。

慌てた様子で「お父さんが旅先で倒れたの！」。

たまたま搬送先の病院が、出張先から電車と車を取り継いで2時間くらいだったので急いで駆け付けた。

病室に入ると、いつもの気丈な振る舞いとは打って変わって、心臓の痛みを覚えた親父は数々の管に繋がれた状態で横たわっていた。その時は死ぬ気満々だったのか(その後、10年以上生きてくれたのだが(笑))遺言を言い出した。

「俊亮、この先、あ・い・う・え・お この五つだけを大事にして生きていけ」

聞くと「あ」は「愛」、「い」は「命」、「う」は「運」、「え」は「縁」、「お」は「恩」と

のこと…。

親父と別れ帰京の機上で「あいうえお」を紙に記し、眺めてふと気付いたのが、妻・子どもらへの「愛」、自分自身や生きとし生ける者の「命」、友や上司・同僚らとの「縁」、親や師への「恩」、これらの存在を意識できる概念である4文字と「運」は異質であるということ。

「運」を囲む周りの4文字を普段から意識して大事にすることで真ん中にある「運」が降ってくるのではないかと自分なりに解釈をさせてもらったのだ。

以来、部下の結婚式や入社式等で登壇の際、何かにつけこの話をしてきて社員にはすっかり耳たこの決まり文句となった。とはいえ、伝えていくのが生前でできなかった親父への孝行と思い、この金言を終生大事にしていこうと考えている。